

「樹木の観察」

2026.2.5～13



～校内フィールドワーク～



生物基礎の授業の一環で、毎年フィールドワークとして校内樹木の調査をしている。昨年度作成した翠嵐独自の樹木プレートにより、校内の野生種の特徴をつかみ植生について学ぶ。45分間に27本を調べるので手分けをしたり、走って探したり。生徒の感想や考察には、校内の野生種の多さに感嘆し、深く勉強していきたいとの声も。



フジは初夏には満開になる



イヌツゲは常緑広葉樹



正門の脇にはスダジイとイロハモミジ



アラカシ照葉樹林の高木。秋にはどんぐりが落ちてくる。



オオシマザクラの葉は桜餅を包むのに使われる



体育館裏にも貴重な野生種の樹木。イヌビワ、シロダモ、タブノキなど



中庭の「翠泉」では季節により花や葉がきれいに彩る。野生種はヤマボウシ、ヒュウガミズキ、アオキ